

深野康彦の 先取り経済NEWS!!

編集・発行 株式会社 アサヒ・ビジネスセンター 2024年10月15日

今月のトピックス 「米国大統領選後は分断が進む？」

自民党の総裁選は9名が立候補。高市氏と石破氏の決選投票により石破氏が逆転勝利を収め、石破氏が自民党総裁、そのまま総理大臣になりました。石破総理は前言を翻して解散総選挙を表明しているため、増税&日銀の利上げなどに関して封印していますが、持論や閣僚がアベノミクスを否定している大臣ばかり。総選挙後には、再び円高&デフレ的な逆アベノミクス政策を進める可能性があり日本経済も低迷を余儀なくされるかもしれません。9月30日の株価急落がそれを物語っていると思うのですが……。余談ですが、筆者は総選挙で与党が想定以上に議席を減らしてしまい、石破政権は早くも迷走するのではないかと危惧しています。しかし予想に反して大勝すれば、ジワジワと緊縮&増税路線を採ってくると思われれます。消費税は15%に引き上げという噂まで出ているのです。万が一、野党が大勝して政権交代になったとしても立憲民主党の党首、野田氏は消費税を10%まで引き上げた張本人。間違いなく、増税&緊縮財政の政策を採ることでしょう。

自民党の総裁選が終了すれば、最大の関心事は米国の大統領選のはずでした。しかし、想定外の総選挙が決まったことから、国内の報道は総選挙一色になってしまい、当面の間大統領選は付け足し、総選挙終了後に本格報道となる気がしてなりません。総選挙の予測は他に譲り今回の経済ニュースでは米国の大統領選を取り上げます。トランプ氏の暗殺未遂以降、大統領選はトランプ氏で確定という印象でしたが、バイデン大統領からハリス氏に民主党の候補が変更になった頃からやや風向きが変わったかもしれません。8月の両候補の討論以降は民主党のハリス氏優勢という報道が多くなっているようです。しかしながら、2016年のトランプ氏とヒラリー・クリントン氏の大統領選当時もヒラリー・クリントンが勝つという報道が大多数を占めていたことを忘れてはなりません。日本国内での米国に関する報道ではCNNの報道が多い(ありがたく報道される)のですが、CNNは米国では規模もあまり大きくなく(視聴率も高くない)また民主党寄りの報道が多いということを理解しておかなければならないのです。筆者は现阶段ではフィフティ・フィフティと考えていますが、危惧しているのは大統領選の結果により米国の分断が加速化しかねないということです。

選挙結果は、ハリス氏大勝、ハリス氏僅差の勝利、トランプ氏大勝、トランプ氏僅差の勝利の4つが考えられますが、このうち分断が最も深まりそうなのは「ハリス氏僅差の勝利」です。前回の大統領選もバイデン氏が僅差の勝利だったことから、不正があった!と、トランプ氏は負けを認めなかったのは記憶に新しいところ。そしてその後起きた、議会襲撃という前代未聞の事件が想起されてしまうからです。反対にトランプ氏の僅差勝ちの場合、ハリス氏が選挙結果の無効などを訴えることはないと思いますが、有権者は納得するのか疑問が残ります。ただ、トランプ支持者よりは穏やかだと思えますが……。いずれにしろ米国は大統領戦後に分断が深まる可能性があることは頭の片隅に入れておくべき。株式投資などを行っている人は、どちらかに賭けるのではなくポジションを軽くしておくのが賢明でしょう。最高値近辺にあります。最も手堅いのは金だと思います。

次回の経済ニュースを皆さんがご覧になるときは結果は出ているはずですが？